



左—序章展示風景。各章の案内役としてゴヤの作品が展示されている 右上—饒加恩(ジャオ・チアエン) レム睡眠 2011 右下—ダヤニータ・シン ファイル・ルーム(部分) 2011~13

## 東京国立近代美術館「眠り展」鑑賞とともに訪れたいアートスポット

# ART WALK MAP with 「眠り展」

世界的パンデミックのなか開催されることとなった「眠り展」。全7章を通じて〈眠り〉の意味を多角的にたどる本展を、活動休止や創造行為、眠りの外側内側で生じる事象などに触れ、新しい生活様式(ニューノーマル)を考える機会としても捉えてみたい。また、鑑賞後に訪れたい美術館付近のアートスポットをセレクトした。本展を思い出しながら、私たちの生活について考えをめぐらせてみてはいかがだろうか。

人々にとって生きていくうえで欠かせない〈眠り〉は、芸術家たちの創造を駆り立ててきた。東京国立近代美術館で開催中の「眠り展：アートと生きること ゴヤ、ルーベンスから塩田千春まで」では、そんな眠りをテーマに生み出された古今東西の多彩な表現にフォーカス。絵画、版画、素描、写真、立体、映像など国立美術館のコレクションから、ゴヤ、ルーベンス、クールベから、河原温、内藤礼、塩田千春まで33名のアーティストによる約120点の作品が一堂に会する。

展覧会は「序章 目を閉じて」「夢かうつつか」「生のかなしみ」「私はただ眠っているわけではない」「目覚めを待つ」「河原温 存在の証としての眠り」「終章 もう一度、目を閉じて」の7章構成。18~19世紀に活躍したスペインの巨匠・ゴヤを案内役として、全7章を通じて、美術における眠りの意味をたどっていく。本展を担当した同館研究員の古館遼は、眠りというテーマについてこう語る。「眠りとは、夢と現実をつなぐ創造の源泉。展覧会を象徴するのが、ゴヤの4大版画集のうちのひとつ『ロス・カプリーチョ

ス』に含まれる《理性の眠りは怪物を生む》(1799)という作品です。眠りにつく芸術家に、フクロウが銅版画制作に必要な針を渡すシーンを描いたこの作品は、まさに創造の源泉としての眠りを表しています。」

夢と現実をつなぐという意味での眠りにアプローチするのが第1章「夢かうつつか」だ。18名の外国人労働者が夢の光景を語る様子をとらえた饒加恩(ジャオ・チアエン)の映像作品《レム睡眠》は、古館曰く、企画の初期段階から本展に組み込みたいと考えていたという。「彼女たちがそれぞれに語る夢の光景には、過去の記憶や願望、生活への不安が混ざり合う。社会問題への示唆として重要な作品です。」

当初は東京2020オリンピックという祭典後の様子を意識しながら、企画を進めていた本展。新型コロナウイルスの大流行に伴い、眠りについてより多角的に考えを深めながら、夢や無意識、さらには活動の休止や死をも示すべく展示内容を大きく変えていったという。堂本右美が闘病中に枯れゆくチューリップを描いた《Kanashi-11》(2004)は生きることの愛しみや

儂さを思わせ、世界的パンデミックに揺れる今日、より多くの人の心に残るだろう。

こういった現実的なテーマを軽やかに見せるのがトラフ建築設計事務所による設計デザインだ。展示室内には、カーテンを思わせる柔らかな垂れ布や布のようなグラフィックが出現。微睡み(まどろみ)を誘うような軽妙な構成が光る。またグラフィックデザインは平野篤史が担当。展覧会タイトルや章に、揺らめくような独自の書体を使い、眠りというテーマを巧みに表現している。

高く積まれた書類や書籍などの記録資料を撮影したダヤニータ・シンの写真作品《ファイル・ルーム》(2011~13)も見どころのひとつ。現状は眠っているアーカイブの山のなかから、今後貴重なものが発掘されるかもしれない——同作はそういった将来的な目覚めを期待させる。古館は「会場を後にしたら、同館からほど近い神保町で書店巡りもおすすめです。眠り展には、日々の迷いや悩みを切り開くためのヒントが詰まっています。“目を閉じることで目を開く”のような展覧会になれば」と語る。



東京国立近代美術館は、東京の中心部、皇居のほど近くに建つ日本で最初の国立美術館。明治から現代までの幅広いジャンルにわたる日本美術の名作を、海外の作品もまじえて多数所蔵する。日本が急速な近代化を成し遂げた激動の時代、日本の伝統的な美意識と西洋美術という異文化の間で、真に時代を切り開く表現を求めて模索を続けた芸術家たちの作品を楽しんでいただきたい。

東京国立近代美術館

☎ 2020年11月25日~2021年2月23日 ☎ 東京都千代田区北の丸公園3-1 ☎ 050-5541-8600(ハローダイヤル) ☎ 10:00-17:00 ※ (休)月(祝翌日休館)  
料)「眠り展」:一般1200円・大学生600円 🌐 www.momat.go.jp

## 美術館周辺のアートスポット



### ① 山の上ホテル

川端康成、三島由紀夫、池波正太郎等多くの文化人に執筆の場所として愛された山の上ホテル。一歩足を踏み入ると心地よい時間が流れる。ロビーの床や天井、陶器で出来た螺旋階段一つ一つに、アール・デコ様式の美しさが散りばめられている。「眠り展」の余韻に浸るのにぴったりな場所は、「コーヒーパーラーヒルトップ」。看板メニューのプリンアラモードは、硬めのプリンやどこか懐かしいスワンシュー、色彩豊かな果物で構成され、見ていてだけで惚れ惚れする。シェフが創業当初の味を再構築したネオクラシカルな逸品を食べながら、アートな会話を楽しんだり、ひとり創作の世界に旅立つのも良いだろう。



☎ 千代田区神田駿河台1-1 ☎ 03-3293-2311 ☎ ホテル24時間営業 コーヒーパーラーヒルトップ 11:30~21:00(L.O.20:00) ※ (休)無休 🌐 www.yamanoue-hotel.co.jp



提供:竹尾 見本帖本店

### ③ 竹尾 見本帖本店

多種多様なファインペーパーに触れられる竹尾 見本帖本店。実際に気に入った紙を購入できる一階スペースをはじめ、二階ではファインペーパーの魅力を活かしたサンプルや展示を楽しむ事ができる。無垢の紙の質感や色に触れながら、お気に入りの一枚を選び取る。そんな時間は童心に返った様な心地良いワクワク感がある。文房具好きの方もそうでない方も、紙の魅力と向き合う時間を通じて、自分の感性に気づく機会となるかもしれない。感性の赴くままに、バラエティーに富んだファインペーパーを選ぶうちに、気づけば時を忘れ没頭してしまうだろう。

☎ 千代田区神田錦町3-18-3 ☎ 03-3292-3669 ☎ 11:00~18:00 ※ (休)土日祝 🌐 www.takeo.co.jp

### ② 南洋堂書店

神保町のメインストリートに清く佇む建築専門書店、南洋堂書店には、「眠り展」の展示会場構成を手掛けたトラフ建築設計事務所によって制作された屋外設置本棚がある。側面にある入り口を抜けると、吹き抜けの天井から暖かい日差しが差し込み、正面のガラス窓からは美しい銀杏の木が見える。古本・洋書など幅広い建築書を取り揃え、一般の方向けの建築巡りや家具などの書籍も豊富だ。普段出会う事のできない、新たな一冊に出会えるかもしれない。

☎ 千代田区神田神保町1-21 ☎ 03-3291-1338 ☎ 10:00~18:00 ※ (休)日祝 🌐 www.nanyodo.co.jp

トラフ建築設計事務所:「眠り展」の展示会場構成も行った建築設計事務所。建築の設計だけでなく、インテリア、展覧会の会場構成、プロダクトデザインなど、多岐に渡り、建築的思考を軸に取り組んでいる。



### ④ ディゾン神保町

ケーキをもっとカジュアルに楽しんで欲しい、という思いから創られたカフェの店内は、あえて鉄やコンクリートを残したアンティークな雰囲気の魅力だ。マニュアルにとらわれず自然体のホスピタリティでもてなしてくれるバリスタの笑顔にこちらは心癒され、日常の喧騒から解放される。コンセプトは決めすぎないようにしている、というカフェオーナーの自由な思想が、居心地の良さの理由かもしれない。今日ばかりはのんびりとしたひと時を満喫してみたいだろうか。



☎ 千代田区神田神保町1-24 ☎ 03-5244-5618 ☎ 8:00~19:00(月~金)・11:00~17:00(土日祝) ※ (休)不定休 🌐 www.dixons.jp



提供：東京大神宮

### 5 東京大神宮

神楽坂にほど近い東京大神宮は、伊勢神宮の内宮と外宮の御祭神である、天照皇大神（あまてらすすめおおかみ）と豊受大神（とよけのおおかみ）を主祭神とする神社であり、「東京のお伊勢さま」といわれ親しまれている。縁結びとしても有名で、神門など随所に猪の目と呼ばれるハートマークに似た紋様が隠れている。また、神様への手紙とされる「願文」は東京大神宮ならではのものです。見た目も可愛らしい。神社で心を静め、自分自身の想いに向き合う時間は、「立ち止まる」という意味で、眠りと通ずるものがあるかもしれない。神様に手を合わせた後は、情緒溢れる神楽坂の街を散歩したり、お気に入りのカフェを探してみるのもおすすめです。

住 千代田区富士見 2-4-1 電 03-3262-3566 ㊟ www.tokyodaijingu.or.jp



### 6 ギャラリー珈琲店 古瀬戸

神保町の裏路地に、つつい長居してしまうカフェがある。店内に入るとまず目に入る城戸真亜子の作品《幸せの予感》が、壁一面に大胆に描かれている。店内そのものがアートと言っても過言ではない色彩豊かな空間は、アートラバーにはたまらない。建築に造詣が深いマスターこだわりの店内には、様々な工夫が凝らされており、その一つに吸音材を使用した天井と壁がある。そのお陰で店内は満席なのに、どこか静けさが保たれている。ピアノの形をした店舗内装も素敵だ。いつでも食べられる軽食メニューは、時間を気にせず楽しめる。美術鑑賞の感想に花を咲かせながら、賑やかで不思議と静かな空間を堪能してみよう。

住 千代田区神田神保町 1-7 NSEビル 1F 電 03-3294-7941 時 10:00～22:00（平日）・10:00～21:00（土日祝）※ 休 年末年始 ㊟ gallerykoseto.shopinfo.jp



### 9 Spa LaQua

種類豊富な温泉・サウナ・リラクゼーションスペースからなるスパラクーアは、自分を癒す都会のオアシス。サウナで汗を流すもよし、リラクゼーションスペースでそっと目を閉じて、これからのニューノーマルに想いをさせるもよし。今の自分の気分にあったお気に入りの過ごし方が叶えられる。美術鑑賞を振り返りつつ瞑想するのにおすすめの部屋は、「フィンランドサウナ」。薄暗い静かな部屋の中に入ると、自然と心が落ち着き、誰にも邪魔されず自分の心を見つめ直すことができるだろう。何にもとられず脱力して、束の間の自分時間を過ごしたい。

住 文京区春日 1-1-1 ラクーアビル 5～9F（フロント 6F）電 03-3817-4173 時 11:00～翌朝 9:00（最終入館翌朝 8:00）※ 休 HP 参照 料 大人 2900 円 17 才以下 2090 円 ㊟ www.laqua.jp



提供：防衛省

### 10 市ヶ谷記念館

「眠り展」 展覧作品である森村泰昌《なにものかへのレクイエム》は、三島由紀夫の剖腹事件をオマージュしている。この歴史的な事件の舞台となったのが市ヶ谷記念館だ。市ヶ谷記念館は、防衛省の敷地内にあった1号館の主要な部分を移設・復元したものであり、三島による刀傷が残るドアは事前予約が必要な市ヶ谷ツアーに参加することで、今も見ることが出来る。

住 新宿区市谷本村町 5-1 電 03-3268-3111 時 9:30～11:10・13:30～15:45 ※ 休 土日祝・年末年始 料 無料（市ヶ谷ツアーは有料。詳細はHPを参照） ㊟ www.mod.go.jp

三島由紀夫：1925年東京生まれ。戦後の日本文学界を代表する作家。ノーベル文学賞候補にもなり、世界的にも実力を評価された。また、政治的な活動にも精力的に取り組み、国内の政治運動や文学界にも大きな影響を与えた。



### 7-A 旧江戸城外桜田門

東京国立近代美術館からも程近い、皇居外苑はお散歩コースには外せない都内の癒しスポット。折角なら、のんびりお散歩を楽しみながら、文化遺産に目を向けてみるのも面白いだろう。「桜田門外の変」で有名な旧江戸城外桜田門は、今も尚変わらない迫力を放ち、静かに時代の変化を見守ってきた荘厳な趣がある。

住 千代田区千代田 1-1 電 03-3213-0095 ㊟ www.env.go.jp



### 7-B 江戸城天守台

天守を守り続けた江戸城天守台は、今は落ち着いた存在感を保っている。天気の良い日は、お弁当を持ち込んで芝生にレジャーシートを広げ、のんびり過ごす事もできる。皇居をのんびり散策した後は、「眠り展」で感じた様々な想いを巡らせながら、美味しい空気を胸一杯に吸い込んで目を閉じてみる。皇居の澄んだ空気が、だんだんと心を軽くしてくれるはずだ。

住 千代田区千代田 1-1 電 03-3213-1111 時 3/1～4/14、9月～10月は9:00～16:30、4/15～8/31は9:00～17:00、11月～2月は9:00～16:00 ※ 休 月（祝翌日）・金（※祝日開園）・12/28～1/3 ㊟ www.kunaicho.go.jp



提供：パレスホテル東京

### 8 パレスホテル東京・和田倉噴水公園

皇居外苑の前に位置するパレスホテル東京と和田倉噴水公園は、どこか穏やかで静かな空気が流れている。お散歩をして少し疲れた後は、パレスホテル東京地下階のスイーツ&デリへ足を運んでみたい。パレスホテル東京限定の美味しいデリやケーキをはじめ、粋な手土産が豊富に揃う。公園で昼食を楽しみたい方には、オールデイダイニング「グランド キッチン」のテイクアウトメニューをあらかじめ予約しておくのもおすすめ。お好みのサンドウィッチやサラダなどの軽食を買って、和田倉噴水公園でのんびりおしゃべりしながら食べるひとときは最高の贅沢だ。



パレスホテル東京 住 千代田区丸の内 1-1-1 電 03-3211-5211 時 10:30～19:00（スイーツ&デリ）7:00～22:30（グランド キッチン）※ 休 無休 ㊟ www.palacehoteltokyo.com  
和田倉噴水公園 住 千代田区皇居外苑 3-1 電 03-3231-5509 ㊟ www.env.go.jp

